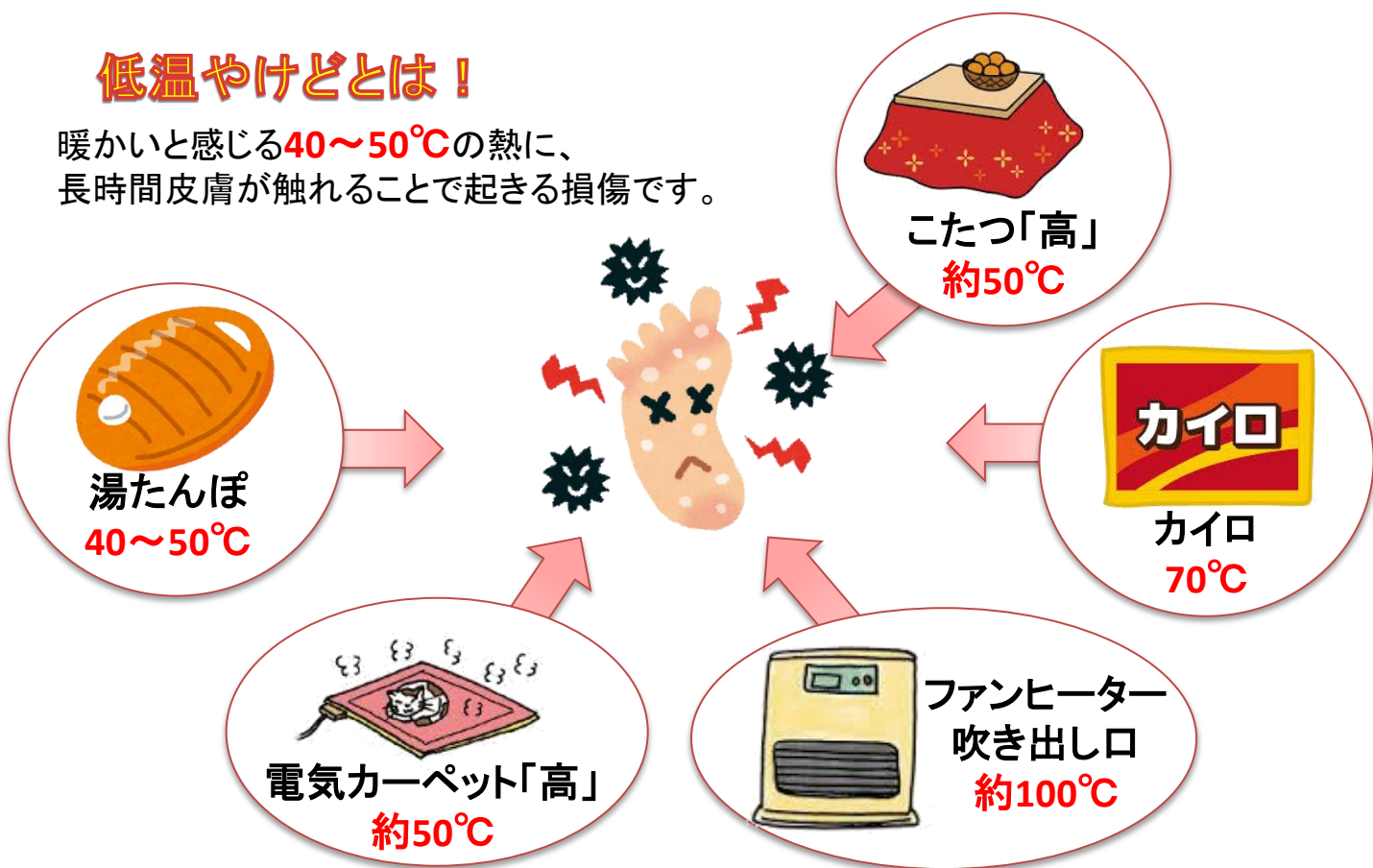


知っていますか？ 冬に潜む、足病変の危険！？

糖尿病患者さんは免疫力が弱く、少しのケガや深爪などからバイ菌が侵入して足や指を切るなどの重症な足の病気になるやすいと言われています。また、糖尿病による神経障害で足の感覚が鈍くなったり、視力障害で傷に気づきにくくなるため、放置しがちとなります。冬は足の病気の引き金となる“**低温やけど**”を起こしやすい季節です。ちょっとした予防で、安全で暖かに足を守りましょう！

低温やけどとは！

暖かいと感じる**40～50℃**の熱に、長時間皮膚が触れることで起きる損傷です。



暖房器具は適度の距離を置き、**直接肌に触れないよう**ご注意ください！

“ 糖尿病患者さんの足を守る!! ” 【糖尿病センター フットケア外来】
いつでもご相談ください。相談窓口:「すずらん」TEL:059-331-6003